

「出雲の海応援隊」の取組について

出雲の海応援隊事業は、市民や事業者に出雲の海や魚介類の魅力を知ってもらい、自ら情報発信することで、魚介類の消費拡大や漁業の活性化を図ることを目的として、本年度から実施しています。

令和2年度より、応援隊員を一層増やし、市民に対する出雲の海応援隊の認知度を高めるため、事業内容を一部見直して実施します。

◆事業の見直し概要

	令和元年度	令和2年度
年会費	【個人】 200 円/世帯 【店舗】 1,000 円/事業者	変更なし
隊員資格	【個人】 ・ 出雲の海に関心を持ち、SNS等で情報を発信するほか、出雲の魚を積極的に消費する方 【店舗】 ・ 市内で水揚げされる魚介類を積極的に利用しPRする（概ね50%以上を想定）。 ・ 青提灯を掲示する。	【個人】 ・ (変更なし) 【店舗】 ・ 市内で水揚げされる魚介類を積極的に利用しPRする。 <u>(種類によっては地元産で賄えない魚介類があること、時化等で入手困難な場合があることを考慮し、50%以上にこだわらず市内で入手可能なものをできる限り利用する事業者を含める)</u> ・ 青提灯 またはロゴマークを使用したポスター等を掲示する。 ⇒ <u>寿司屋、魚屋、加工業者も参加しやすくなる</u>
募集方法	【個人】 出雲の海魅力発信事業への参加申込者への案内や口コミ 【店舗】 商工会議所や商工会を通じて募集	【個人】・【店舗】 元年度の方法に加え、 <u>市ホームページや広報いずも等により広く募集する。</u>
イベント	【個人】 ・ 定置網漁見学会 ・ 地引網体験会 ・ シジミ漁体験会 ・ 料理教室	【個人】・【店舗】 ・ 元年度のイベントに加え、 <u>市場(セリ)見学会、海岸清掃などを実施する。</u> ・ <u>店舗隊員へもイベント案内を行い、隊員同士の交流も図る。</u>
店舗周知	・ 市ホームページ ・ 隊員向け会報（応援隊通信）	元年度の方法に加え、 <u>宿泊施設等の協力も得ながら、より広く周知する。</u>

(参考) 令和2年2月末現在の隊員数 ・ 個人隊員—40名 ・ 店舗隊員—14店舗

出雲の海応援隊イメージ

出雲の海応援隊

【コンセプト】

『出雲の海を訪れる』・『出雲の海を知って好きになる』・『出雲の魚をたくさん食べる』



漁業者

- ・水産物の提供
- ・漁業の活性化

隊員（個人）

【活動内容】

- ・漁業体験・見学会等への参加
- ・出雲の魚介類の積極的消費
- ・SNS 等による情報発信

隊員（店舗）

【活動内容】

- ・出雲の魚介類の積極的利用
- ・青提灯又はロゴマークの掲示
- ・漁業体験・見学会等への参加
- ・SNS 等による情報発信

連携



出雲の海を大切にすまちづくり

○市民全体で漁業を支える

○海を愛する心の醸成

○豊かな海を後世に残す